

西伊豆健育会病院 健康管理室 健診トレーナー 森井真実

功 績	COVID-19の影響下でも決して諦めることなく、健診受診者に接し、また脳ドックのパンフレットの送付等、自分のできることを最大限に発揮し、健診の受診者数(顧客数)の増加に寄与した功績。
推 薦 者	医療連携室 室長 朝賀瑞乃
推 薦 理 由	院内健診担当として、「COVID-19だから」と言い訳することなく、脳ドック件数と院内健診者数を大幅に増加させ、更に新規獲得にも成功した森井を理事長賞候補に推薦いたします。

内 容

森井は入職17年目の職員で、総務課から5年前に健診部に異動となり、現在院内検診の中心として業務にあたっています。今年の3月からCOVID-19の影響を受け、外来受診を控える傾向にあり、その余波は健診部にも及び、院外の事業所健診は延期、院内健診も予約が入らない状況が続いていました。しかし、その様な状況でも院内健診担当の森井は、自分が今できることをしようと、脳ドックのパンフレットを送付し続けました(4～8月:1,830通)。すると、4月:1件、5月:7件だった脳ドックの件数が、6月:23件、7月:16件、8月20件、9月:19件、10月:20件と大幅に増えました。また、外来業務やスペースの兼ね合いから300～400件/月程度が限界と想定している事業所検診に関しましては、9月以降にずれ込んだ上半期分も、検査を実施する外来処置室に待機し、外来患者さんの介助、スピッツの作成、処置室の電話に出る等、積極的に外来看護師のサポートに努め、受診者をお待たせしない工夫をすることで断ることなく全て受け入れました。

■院内健診 昨年:409人 ⇒ 今年:517人(4月～11月の期間で比較)

■脳ドック 昨年:28人 ⇒ 今年:117人(4月～11月の期間で比較)

■事業所健診 ①9月 昨年:10事業所/364名 ⇒ 今年:15事業所/1,187名

②10月 昨年:28事業所/367名 ⇒ 今年:31事業所/508名

③11月 昨年:18事業所/285名 ⇒ 今年:30事業所/504名

先日、西伊豆・松崎両町より、COVID-19の影響もあり医師会の特定健診が思うように実施できておらず、当院での特定健診を打診された際も、全て引き受け、地域の予防医療に大きく貢献しています。

更に森井は、どんなに忙しくても常に笑顔で受診者とスタッフに接しています。外来をテキパキと動く森井を見て「今、こういった職員に病院は支えられている。」と言った仲田院長の言葉が印象的でした。今回、COVID-19を理由にせず、検診患者数を大幅に増加させ、更に院内受診者をホスピタリティの精神を持って対応し、リピーターを含む院内受診者数を増やす努力を続けている森井を理事長賞に推薦いたします。